



茨城県で発生した【鳥インフルエンザ】に伴う災害派遣 全ての**任務を完遂**！ 令和7年1月1日



派遣隊員見送りの様子 R6.12.29



モニタリングの様子 R6.12.31



鶏舎内作業の様子 R6.12.30



箱詰め作業の様子 R6.12.30

【隊員ご家族の皆様へ】
まずは、日頃から我々に対するご支援・ご協力に深く感謝を申し上げます。

さて、昨年十二月二十九日、茨城県内において鳥インフルエンザが発生しました。その後、県の災害派遣要請を受け、我々は災害派遣部隊を編成し約三十万羽の鳥の処分を任務として活動を開始しました。そして令和七年一月一日、全ての任務を完遂し、無事に駐屯地に帰還する事ができました。今回の災害派遣は年末年始休暇の最中ではありましたが、休暇返上をものともせず、自ら手を挙げ災害派遣活動に従事してくれた隊員が沢山います。中には、単身赴任で久しぶりに新潟に帰省した隊員が、とんぼ返りで勝田駐屯地に戻って来たり、楽しみにしていた家族旅行をキャンセルして、災害派遣に参加してくれた隊員もいました。これら隊員の行動にはまったく頭の下がる思いです。

一方で、家族の皆様には、大切な家族の時間やイベントを削られてしまった事に対する不満もあらわれるかと存じます。我々の働きは、国民の安全と安心を守るための大切な務めであり、隊員がその大きな役割を担っている事、自衛隊が信頼される組織となっている理由でもあります。皆様、この点をご理解いただき、変わらぬご支援ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、令和七年が隊員の皆様そして隊員ご家族皆様にとって、幸多き一年となりますよう、心から祈念してお礼の言葉とします。本当にありがとうございます。

令和七年一月一日

施設学校長 兼 勝田駐屯地司令

陸将補 圓林 栄喜

